

(資料)

一般社団法人 ジェネティクス北海道

肉用牛に係る遺伝性疾患（FMA：前肢帯筋異常症）について

1. FMA：前肢帯筋異常症について

前肢帯筋異常症とは、GFRA1遺伝子の異常で生じる、常染色体劣勢遺伝性疾患です。主な症状として、肩甲部が著名に突出し、多くは出生直後から起立困難や筋肉振戦を示す。発育不良、耳介下垂等がみられる場合がある。

2. FMA：前肢帯筋異常症の遺伝様式

本疾患は、常染色体単純劣性の遺伝様式をとります。したがって、遺伝子型と症状の関係は、以下のようになります。

遺伝子型	表示	症状
正常／正常	正常	正常
正常／異常	保因	正常
異常／異常	異常	異常

		雌	
		正常	保因
雄	正常	全て正常	正常：保因 1：1
	保因	正常：保因 1：1	正常：保因：異常 1：2：1

上記の表のとおり、保因牛同士を交配した時のみ、1/4の高確率にて異常牛が生まれる可能性があります。そのため、保因の雄を交配に使用する場合は、正常な雌に交配することが望ましいと考えられます。

当団種雄牛 F M A（前肢帯筋異常症）遺伝子保因牛一覧

略号	名号	父	母の父	母の祖父	検査結果
H黒-69	北福桜	福桜(宮崎)	安美土井	越照波	保因
H黒-171	鶴仙翔	福桜(宮崎)	上福	安平	保因
H黒-176	隆光165の1	隆桜	安福165の9	糸光 ◆	保因
H黒-252	北清桜	隆之国	福桜(宮崎)	安平	保因
H黒-256	真津福	北乃大福	福桜(宮崎)	安平	保因